



南行通信

自分もみんなも大切にする子供を育てる

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和7年9月2日
校長 中村 由美子



例年になく厳しい暑さが続いた長い夏休みが終わり、今日から学校も再開です。日焼けした顔や一回りたくましくなった姿から、充実した夏を過ごしたことがわかりました。

「夏休み明け朝会」では、二つの話をしました。

一つは、手にハンデがある高校球児が悩みを抱えたときに1冊の本と出会い、生き方への迷いがなくなり、野球を続けて甲子園へ出場した話をもとに、本を読むことで人生が変わったり豊かになったりすることがあるので、読書を夏休みだけでなくこれからも続けていこうと伝えました。

そして、もう一つ。それは、学校の役割は「社会に出てからの練習をする場所」だということです。大人になってから困らないように、子どものうちにたくさん失敗したり、自分の考えとは違う友達とぶつかったりしながら、どうするかよく生活できるかを考える練習をしよう、と話しました。

私たち教職員も、夏休みに1学期の教育活動から組織としての課題を振り返りました。落ち着いて学習ができる、子どもに不安な思いをさせてしまったなどの状況があったことを大きな課題としてとらえ、改善策を考えました。

子どもたちが安心して生活の場を作り上げていくことを最優先課題とし、以下の項目に重点をおいて教育活動を行います。

- 個に応じた支援:**子どもの思いや発達に寄り添った支援を行い、それぞれの学びや成長をサポートします。
- 危機管理の強化:**学習や校内外での活動、行事など、あらゆる場面の危機を想定し、子どもが安全に生活できるよう配慮します。
- ルール(みなみっこの一日常)**の再確認:学校生活の基本的なルール「みなみっこの一日常」を子どもたちと再確認し、同じルールで生活できるようにします。
- 学習環境の整備:**教室内の整頓、荷物置き場の統一、清潔な環境の維持に努め、学びやすい環境を整えます。

これから、校外学習やドレミファ集会など、様々な行事があります。子ども達が安心して様々なことに挑戦し、多くの壁を乗り越えていけるよう、教職員一同、全力でサポートしてまいります。

今学期も、本校の教育活動にご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

金賞受賞おめでとう



7月21日(月)千葉県文化会館で
第67回千葉県吹奏楽コンクールが行
われました。本校から、吹奏楽部の5・6
年生が参加し、「アトラス～夢への地図」
を演奏しました。多くの観客を前にした
大きな舞台で、堂々と、そして、楽しそう
に演奏し、金賞を受賞しました。

今日の朝会では、吹奏楽部のすばらしい演奏で
校歌を歌いました。

3年生みなみっ子クラブ(夏休み)

月曜日の放課後に行っている
3年生の「みなみっ子クラブ」。
夏休みも頑張りました。朝9時
から50分間の学習を行いました。
暑さに負けず、一人一人が
自分のペースで一生懸命取り組み、次々とプリント
をクリアしていました。



お知らせ等の手紙について、デジタル化を進め、メールに添付していきます。
紙での配付を希望される方は担任へ連絡をお願いします。